

子供たちの健全育成を重点に！

グループくわ 第12回定期総会



5月23日に開かれたNPO法人くわの定期総会で小畑新理事長は「子供たちの健やかな成長を重視した事業を進める」との姿勢を打ち出しました。

総会は午前10時に増金スミ子さん(福11)の司会で開会。堀理事長が「休日の開催に出席ありがとうございます。午後には交歓会も行います」と挨拶。

来賓の服部祥子シルバーカレッジ学長から「自身もシルバー世代であり、共感しています。〈再び学んで他のために〉は、主体性・連帯性・無償性のボランティア精神をもって、社会のために活動することだと思います。再び学んだ英知を発揮して、くわの一人一人が力を合わせて活動して欲しい。それが今井鎮雄前学長の思いだと考えます」と祝辞を述べました。



計画を説明する小畑理事長

続いて議長に加藤勇治氏(美10)を選出「出席者174委任状533の計707で定足数645(会員総数1289人の2分の1以上)を上回っており、総会は成立」との報告があり、議事に移りました。

堀理事長は「26年度は、子どもの健全育成を中心とした事業を推進。昔の生活体験・戦争体験を含む小学校の学習支援、花実の森の里山活動を進め小学生の自然環境体験学習を推進した。「ぎやらりーわ」の充実とホームページの内容一新を進めた。長田区の地域人材支援センターにパソコン教室を開設。東北支援では7月に第5次チームを女川町、名取市に派遣し、仮設住宅や小学校を再訪、被災地との連帯・心の絆を深めた。会員のスキルアップ講座として防災講座を実施した」と事業報告・決算報告があり、長谷川監事の監査報告の後に、拍手で承認されました。

続いて新役員19人(別表)が拍手で承認され、小畑新

【平成27年度の新役員】

理事長	小畑 浩昭	(国16) =	・北
副理事長	吉本 弘	(音17) = 企画・垂水	
副理事長	田路 義弘	(生17) = 事業・須磨	
理事	山本 都子	(生17) = 財務・兵庫	
理事	北村 洋	(生17) = 事業2・北	
理事	水町 亮治	(生18) = 総務・中央	
理事	永野 知己	(生18) = 広報・須磨	
理事	岡本 紘一	(生18) = 広報・垂水	
理事	四方 久幸	(国18) = 事業1・北	
理事	内村 ナナ子	(国18) = 事業・中央	
理事新任	杉原 ふき子	(生18) = 総務・須磨	
理事新任	米増 享二	(音19) = 総務・北	
理事新任	田中 伸一	(福19) = 財務・長田	
理事新任	藤田 健一	(福19) = 広報・西	
理事(非)	海野 龍英	(食16) =	・明石
理事(非)	土井 昭政	(国10) = 区会長・北	
理事(非)	柳川 淳一	(国13) = 部会長・須磨	
監事	南形 徹	(生14) =	・北
監事	堺 汎	(園15) =	・西

【区会長】東灘=中谷 一郎(生15)

灘 = 広瀬 庫司(園17) 中央=久保 正志(国14)
兵庫=大掛 敏夫(生7) 北 = 土井 昭政(国10)
長田=藤田 忠之(福13) 須磨=細野 恵久(福3)
垂水=山口 昭則(生18) 西 = 戎井 正俊(生17)

【部会長】福祉=加藤 勇治(美10)

国際=柳川 淳一(国13) 環境=真崎 光(美18)
文化=重松 豊彦(国9) いきかい=吉永美沙子(国12)
▽須磨一ノ谷 プラザ責任者=藤田 忠之(福13)
▽学習支援委員会 委員長 = 堺 汎(園15)

理事長が27年度の事業計画を説明。「本年度も子供たちの健全な育成を最重要課題として取り組む。組織の点検、整備を進めながら地域振興や福祉・文化・環境・国際などの分野での活動を通じて、社会に貢献する。須磨のお買いものサポーターを本格実施する」と述べ、会員よりグループの活動場所についての提案があった後に、27年度の事業計画、事業予算を原案通り、拍手で承認、11時に議事を終了。このあと、部会長・区会長・一の谷プラザ責任者・学習支援委員長に選出された16人(別表)を紹介。灘区・垂水区・西区の各区会長、環境・生きがいの各部会長が交代しました。



活動報告・活動計画を熱心に聞く会員

昼食休憩をはさんで12時40分からカレッジホールで交歓会（舞台パフォーマンス）が行われました。

福祉部会から2グループ。「明生園もみじ会」はボール遊びなどをして知的障害者のリハビリを、「一寸奉仕」は白波5人男を披露。

文化部会から7グループ。「SCハワイアンズ」はハワイアンのバンド演奏とフラダンスを披露。「KSC民謡クラブ」は三味線、尺八、太鼓、篠笛などの生演奏で民謡と踊り（ソーラン節、花笠音頭）を披露。



「わらい届け隊」はちんどん屋でパフォーマンス。

「KSC手話ソング同好会」は（君といつまでも 夢の坂道）を手話で。「SCクラブ大正琴」は大正琴の音色にのせてナツメロをお届け（君の名は ブルーライト 横浜 花は咲く）「楽遊クラブ銀雅」は日本民族芸能「銭太鼓」で（しあわせ音頭 憧れのハワイ航路 東京五輪音頭）を披露。「KSC男声合唱団」は平均年齢73歳のおじいちゃん達の合唱団（夢をみようよ ブンガワソロ 斎田朗節）を披露。舞台パフォーマンスの後、ピンゴゲームで大いに盛り上がりました。

（取材 広報・岡本紘一 写真 木村成男 中部周二）

グループの活動を支える

小畑新理事長にインタビュー

グループ〈わ〉の小畑浩昭新理事長に6月19日、新しい時代を切り開くための課題と抱負を聞きました。

◆生い立ちは？

1942年にソウルで生まれ、3歳の時に引き上げてきて、主に兵庫県三木市で幼少期を過ごした。神戸市役所に就職、阪神淡路大震災の際は垂水区役所総務課長で区の災害対策本部として対応。

◆カレッジへ入学・〈わ〉へ入会した経緯は？

神戸市役所の先輩からカレッジについて聞いていたが、役所を離れてから1年後に入学した。カレッジ2年生の時に、男声合唱団の代表になったことが切っ掛けで、〈わ〉に入会した。

◆理事長としての抱負は？

5周年誌や10周年誌をひも解いてみて、先輩が立ち上げた経緯などから、〈わ〉のイメージを再確認した。

震災直後に自主的に生まれた10グループの個々の活動から、まとまった組織的な活動に切り替えるために、〈わ〉が誕生した。従って、各グループの活動が中心であり、それを支えるのが〈わ〉の目的と考える。

NPO法人として活動のための財源の確保が重要であり、助成金の申請にも注力する。現在「こども夢基金」30万円の助成を受けた。こどもたちの自然学習のため、花実の森、里山グループ、ピオトープの会、野鳥と自然観察会、ケナフの会、野草クラブなどのグループと一緒に進める。

こうべ福祉振興協会と連携し、しあわせの村をグループの活動の場とするために、ワイワイストリート、夏休みのワークショップなどのイベントに、〈わ〉が出来る範囲で積極的に取り組む。

東北交流活動の来年度の内容は、7月実施の6次の結果などにより決める。東北物産展を行い、こどもたちにプレゼントを送るなど今後は、「被災地とのつながり」を大切にした活動を検討してゆきたい。

年初より進めている組織改革については、提言内容の主旨・目的を整理して進めて行く。出来るもの、例えば本部内の作業環境整備は早めに進める。部会・区会に関するものは、運営委員会で積極的に情報交換の場を設け意見交換を行いながら進める。

（まとめ 広報 永野知己 岡本紘一）